

令和4年度 後期始業式

令和4年度後期始業式にあたり、皆さんに一つお話しします。

先日、釣りを紹介しているコーナーに寄ることがありました。釣りには長い間いっていないと思いながら、パラパラとめくったページの中に、ヤマメを紹介した記事がありました。ヤマメは、川で生活し、体の側面に上下に長い楕円形の模様があり、大きいものでは体長が30センチほどにもなる魚です。

次のページをめくってみると「サクラマス」という魚について書かれていました。この魚は、体の色は銀色で、大きいものでは体長が60センチを超えるものもあり、春、桜が咲くころに海から川にさかのぼってくることから、「サクラマス」という名がついたということです。

さらに内容を見ていくと、見た目も、大きさも全く異なるヤマメとサクラマスは、サケ科に属する全く同じ魚で、両者は成長過程が異なり、孵化した後「川に残るのがヤマメ」で「海に下るのがサクラマス」とよばれ、両者の分かれ目は、稚魚のときにエサをどれだけ食べることができたかによって決まる、と書かれていました。

私は、見た目も、大きさも全く違うこの魚が生まれた時の兄弟？と思いながら、稚魚の時、ヤマメは、サクラマスにエサを奪われ、食べる量が少なかったために、小さい体格のままになったのだらうと思いました。

しかし、実際には、稚魚の時、たくさんのエサをとることができたのはヤマメだそうです。稚魚の時、ヤマメにエサをとられ、大きくなれなかったサクラマスは、エサを求めて海へと下り、エサが豊富な海を回遊するうちに、川に残ったヤマメよりも大きくなって、やがて故郷の川に産卵のため戻ってくるそうです。

稚魚の時に、川での生存競争で一時はヤマメに敗れ、海という新たな生存の場所を見つけ、そこで大きくなったサクラマスの一生は、困難な状況の中でも新たな行動を起こし、自分でできることから少しずつ努力を重ねていけば、新たな道が開けるということを教えてくれているように思いました。

自分の夢の実現に向けて、新たに踏み出した一歩がよい結果を生むかどうかは誰にも分かりません。しかし、勇気を出して確かな一歩を踏み出し、それを継続させていかない限り、自分の夢を実現することはできません。

いろいろなことにチャレンジしていく中で、うまくいかなかったり、失敗したりすることもあるかもしれませんが、しかし、失敗は回り道。行き止まりではありません。自分の未来に向けていろいろなことにチャレンジしていきましょう。